

# 鼻先にバナナ

鈴野しずね



## 鼻先にバナナ

---

大人になってからバナナはあまり食べなくなった。

熱帯フルーツ独特の、あのねばっこいような匂い（私にとっては香りじゃない、笑）があんまりどうも。

嫌いというわけではないので、たま～に食べることもあるけれど。

でもあのすじがやだなあ、ちょっとぬるぬるしてるような食感も。（やっぱ嫌いなんじゃん？笑）

さて2ヶ月ほど前から、週に2,3回走るようになった。

まだそんなに長い距離は走れないんだけど、そのうち10km、ハーフと走れるようになればいいなあと思っている。

先日ランニングしたとき、いつものように(?)しょっぱなから身体が重かった。

でも鬼門(笑)の500mを過ぎれば調子も上がるだろうなと思って走っていたんだけど、500過ぎても1km過ぎてもバテバテのまま。

なんでこんなに不調なんだろ？疲れてるのかなあ？と思いつつ走っていると、突然私の頭脳から「バナナ食べたい！！！！」という指令(笑)が。

ばななばななバナばななばななばばばななバナナバナナ→延々えんどれす、笑。

頭の中はバナナ食べたい！！！！でいっぱい。

でもそのうち、

カロリーメイトでもいいっ！

ソイジョイでもかまへんっ！！

ギブ ミー チョココレイトオオ！！！！

心が叫んでいた。(カッコワルイ、笑)

要するに私はガス欠になっただけ。

なんでだ？？？

あ、そうだ！きのうお菓子食べすぎで増量しちゃったから、夕飯ときょうの朝ごはんは、ちょいダイエットメニューにしたんだっけ。

そのせいかあ、ほおほお～なるほどお～！

でも食事を抜いたわけじゃないんだけどな。

走りたければオレにちゃんとガソリン入れろ！！！！と、自分の身体から文句を言われているようで、なんか笑ってしまった。

結局身体はへろへろなまま、頭の中は食べ物がグルグルしたまま走っていた。

歩いたらもっとうちに着くのが遅くなる、そしたら確実に行き倒れになりそうな空腹度。(笑)

走りながら、頭の中でゴールテープを思い浮かべ、それを両手を上げながら切るシーンを必死でイメージ。

やがていつのまにか、そのテープが自分の身長くらいの高さに張られ、そこにはパンやバナナが

ぶらさがっているイメージに変わっていた。

パン食い競争かよ！！！！ あ、でも懐かしい！（爆）

自分のアホな妄想に、心の中で笑っちゃいながら、なんとかうちに無事到着。

バナナっておいしいんですね、しみじみ。。。 (;\_;) )

そして自分の身体に「すいませんごめんなさい」と心から謝っていて、ふと気がついた。

あるじゃん、ガソリン！

贅肉という名のガソリン！！

こらっ、お前ええええ~~~~~！

なんでガソリン代わりに皮下脂肪燃やさないんだよっ！！

謝るのはお前のほうだろがあああ！！！！

私の身体って燃費悪いんじゃないの？

ぜんっぜん！！エコじゃないじゃん！！（爆）

とりあえず、バナナは美味しかった。

これからも体調を考えながら走ろうっと。

エコな身体も目指します。（笑）

バナナが、とっても美味しいフルーツだってことにやっと気がつきました。。。。。

。。。。。。。。空腹の時には。。。 (やっぱ嫌いなんじゃん、笑)

## 鼻先にバナナ

<http://p.booklog.jp/book/18479>

著者：鈴野しずね

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/shizushizu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/18479>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/18479>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.